

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校

学校だより No.74

令和3年10月26日(火)

文責：校長 大槻浩二

充実したまなびの遠足となりました！

5年生の宿泊体験学習、6年生の修学旅行の後、1年生から4年生までの学習遠足です。

10月22日は、2年生から4年生が学習遠足を行いました。それぞれの学年の教科の学習や総合的な学習の内容に合わせて、校区内の商店や郵便局、交通安全教室や市役所、消防署など各所で見学を行わせていただきました。

受け入れていただきました、関係のみなさまにお礼を申し上げるとともに、このまなびを今後生かしていきたいと思えます。コロナ禍ではありましたが、充実した学習ができました。それぞれの学習の様子は、HPにも掲載しています。

3年生は、トライアルの見学、島原城、消防署の見学を行いました。普段は見ることができない様々な施設や道具、働く人たちの様子に興味津々でした。見学した内容は、今後の社会科の学習でまとめていきます。



2年生は、ファミリーマートやまき商店、郵便局、島原図書館の見学を行いました。はじめて見る物ばかりで、子どもたちの目はキラキラ。たくさんの質問を積極的にできました。見学の態度も素晴らしかったです。



4年生は、「命を守る」がテーマの学習でした。自動車学校で自転車教室を実施し、市役所の市民安全課で防災の講話をしていただきました。自転車教室では、実際の道路を想定しての練習など、命を自分で守る学習ができました。



ホームページの写真は、保存できます！

子どもたちのまなびの様子をよりわかりやすく伝えるために、ホームページにはできるだけ写真を載せるようにしています。「コロナ禍で、なかなか会えないご家族にも子どもたちの様子を写真で見てもらえる」という嬉しい言葉もいただくことがあります。今後は動画なども増やしていけたらと思います。

ところで、ホームページの写真は、見ていただいているご家庭のパソコンやタブレット、スマホに保存できることはご存じですか？パソコンなら写真の上にマウスを動かし、右クリックで「名前を付けて画像を保存」でできます。



親の愛情 わり算？ かけ算？

子どもが自立したせいか、最近よく子どもたちの小さかったころを思い出す。

二番目が生まれた頃、泣けば二人であやしたり、抱っこしたり。そんなある日。三歳になった長女が、突然台所の冷蔵庫の前に仁王立ちし、「もっと彩水（娘の名前）を見て〜！」と泣きじゃくりながら大きな声で叫んだことがある。ビックリしたと同時に二人で慌てて抱きしめた。

そんなつもりは無いのだが、子どもにとって兄弟姉妹が増えるということは、親の愛情や自分に向けられる時間は、わり算に思えるのだろうか。

いやいや、そんなことはない。兄弟姉妹が増えれば、その愛情は、かけ算のはずなのだ。

しかし、幼い子どもにとって、それが理解できるのは、もっと大人になってからのだろう。

兄弟姉妹、同じように愛情を注いでいても、自分を見てほしいのは、子どもにとっては当然なのだ。

進学や受験を迎えたり、部活のお世話が忙しくなったり、仕事に追われたり、家庭の状況は、年を重ねる毎に変わっていく。

そんな中で、「わかってきてくれているだろう。」は、親の過信なのかもしれない。

「ねえねえ、あのね。」の言葉や視線にきちんと向き合いたい。「ちゃんと見てるよ。」のメッセージを添えて。



※夏の終わりは、冬の到来？

急に寒くなって、子どもたちの体調が心配です。体調管理をお願いします。



第四小学校ホームページ

【URL】 <https://4sho.shimabara-edu.com/>

※ 1日1回は、ホームページの確認を！



←QR コードで
ジャンプ！